

注3

大学番号：私立110

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

東邦大学 健康科学部 看護学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東邦大学

令和2年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 東邦大学

## (2) 大学名

東邦大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒274-8510

千葉県船橋市三山二丁目2番1号

(〒143-8540 東京都大田区大森西五丁目21番16号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スミヤマ ヨシノブ) 炭山 嘉伸 (平成21年9月)		
学長	(ヤマザキ ジュンイチ) 山崎 純一 (平成24年7月)	(タカマツ ケン) 高松 研 (平成30年7月)	任期満了のため(元)
学部長	(アサノ ミチエ) 浅野 美知恵 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	60人	年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	60 ( ) [ ]		60 ( ) [ ]		60 ( ) [ ]		60 ( ) [ ]				1.13倍	-倍		
志願者数	635 ( ) [ ]	( ) [ ]	585 ( ) [ ]	( ) [ ]	430 ( ) [ ]	( ) [ ]	539 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]				
受験者数	627 ( ) [ ]	( ) [ ]	579 ( ) [ ]	( ) [ ]	428 ( ) [ ]	( ) [ ]	534 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]				
合格者数	144 ( ) [ ]	( ) [ ]	149 ( ) [ ]	( ) [ ]	148 ( ) [ ]	( ) [ ]	98 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]				
B 入学者数	78 ( ) [ ]	( ) [ ]	65 ( ) [ ]	( ) [ ]	64 ( ) [ ]	( ) [ ]	65 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	1.30		1.08		1.06		1.08							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	78 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	67 [ - ] ( 2 )	 [ - ] ( - )	64 [ - ] ( - )	 [ - ] ( - )	66 [ - ] ( 1 )	 [ - ] ( - )	 [ ] ( )	 [ ] ( )	
2年次	/		76 [ - ] ( - )	 [ - ] ( - )	66 [ - ] ( - )	 [ - ] ( - )	63 [ - ] ( - )	 [ - ] ( - )	 [ ] ( )	 [ ] ( )	
3年次	/		/		75 [ - ] ( - )	 [ - ] ( - )	64 [ - ] ( - )	 [ - ] ( - )	 [ ] ( )	 [ ] ( )	
4年次	/		/		/		75 [ - ] ( - )	 [ - ] ( - )	 [ ] ( )	 [ ] ( )	
計	78 [ - ] ( - )		143 [ - ] ( 2 )		205 [ - ] ( - )		268 [ - ] ( 1 )		 [ ] ( )		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	78人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	143人	2人	平成29年度	1人	0人	体調不良
			平成30年度	1人	0人	進路変更
令和元年度	205人	2人	平成29年度	1人	0人	体調不良
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	1人	0人	進路変更
令和2年度	268人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		4人		4人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{143} = \boxed{1.39} \%$$

【平成31年度・令和元年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{205} = \boxed{0.97} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{268} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<健康科学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然科学	自然科学概論	1前	1								1	
	情報科学概論	1前	1								1	
	化学	1前	1								1	
	生物学	1前	1								1	
	看護のための物理学	2前	1								1	
	語学	実用英語ⅠA	1前		1							1
		実用英語ⅠB	1後		1							1
		実用英語Ⅱ	2前	1								2
		医療英語ⅠA	1後		1							1
		医療英語ⅠB	1前		1							1
		実用英語Ⅲ	2前		1							1
		実用英語Ⅳ	4前		1							1
		医療英語Ⅱ	4前		1		3					1
		実用医療英語	1後		1							1
		ドイツ語入門	1前		1							1
フランス語入門	1前		1							1		
中国語入門	1前		1							1		
健康科学	健康科学概論	1前	1			1					1	
	コミュニケーション論	1前	1								2	
	プレゼンテーション論	1前	1								1	
	スポーツ健康科学	1前		1							1	
	スポーツ健康科学実技	1前		1							3	
人文科学	心理学	1前	1								1	
	教育学	1前	1								1	
	組織論	1前		1							1	
	経済学	1前		1							1	
	社会学	1前		1							1	
	法学 (日本国憲法を含む)	3前		2							1	
	文学	1前		1							1	
	人類学	1前		1							1	
	哲学	1前		1							1	
倫理学	1前		1							1		
小計(32科目)		-	11	22	0	4	0	0	0	0	31	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然科学	自然科学概論	1前	1									1
	情報科学概論	1前	1									2
	化学	1前	1									1
	生物学	1前	1									1
	看護のための物理学	2前	1									1
語学	実用英語ⅠA	1前		1								1
	実用英語ⅠB	1後		1								2
	実用英語Ⅱ	2前	1									3
	医療英語ⅠA	1後		1								1
	医療英語ⅠB	1前		1								2
	実用英語Ⅲ	2前		1								1
	実用英語Ⅳ	4前		1								1
	医療英語Ⅱ	4前		1		3						1
	実用医療英語	2前		1								1
	ドイツ語入門	1前		1								1
フランス語入門	1前		1								1	
中国語入門	1前		1								1	
健康科学	健康科学概論	1前	1				1					1
	コミュニケーション論	1前	1									2
	プレゼンテーション論	1前	1									1
	スポーツ健康科学	1前		1								1
	スポーツ健康科学実技	1前		1								5
人文科学	心理学	1前	1									1
	教育学	1前	1									1
	組織論	1前		1								1
	経済学	1前		1								1
	社会学	1前		1								1
	法学 (日本国憲法を含む)	3前		2								4
	文学	1前		1								1
	人類学	1前		1								1
	哲学	1前		1								1
倫理学	1前		1								1	
小計(32科目)		-	11	22	0	4	0	0	0	0	38	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								1	
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								1	
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2								1	
		生化学	1後	1								1	
		臨床栄養学	2前	1								2	
		微生物学	1後	1								2	
		疾病と治療Ⅰ	1後	2								3	
		疾病と治療Ⅱ	2前	2								6	
		疾病と治療Ⅲ	2前	2								6	
		疾病と治療Ⅳ	3前	2								4	
		疾病と治療Ⅴ	3前	1			1					5	
		薬理学	1後	2								3	
		薬剤学	1後	1								2	
	リハビリテーション論	2前	1								1		
	臨床遺伝学	2前		1							1		
	臨床心理学	2前		1							1		
	社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2								1	
		社会保障制度	3前	2								1	
		研究方法の基礎	3前	1			1					3	
		保健統計と情報処理	3前	1				1				1	
疫学と公衆衛生		3前	2								1		
健康生活支援論		4前		1							1		
政策形成過程論		3前		1							1		
小計(23科目)		-	30	4	0	2	0	1	0	0	42		
専門教育科目	臨床看護学	看護学概論	1前	1			2						
		臨床看護学概論	1後	1			1						
		看護倫理学	4前	1			1						
		看護理論	1後	1			3	1					
		トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1				
		看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2		
		機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1					
		周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1			
		がん看護・緩和ケア	3前	1			1			1			
		トランスレーショナル看護領域	看護学概論	1前	1								2
			臨床看護学概論	1後	1								1
			看護倫理学	4前	1								1
			看護理論	1後	1				3	1			
	トランスレーショナルへの挑戦		1前	1				1	2	1			
	看護展開論		2前	1					2	2	4	1	
	機能障害のある患者の看護		2前	2					1			2	
	周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2					1	1		1		
	がん看護・緩和ケア	3前	1					1			1		
	小計(23科目)		-	30	4	0	3	0	1	0	0	53	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	臨床看護学	感染看護	2後	1		1	1						
			看護の基本技術Ⅰ	1後	1		1	1	1	1				
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2			2	2	2	2				
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2			3	1	2	1				
	臨地実習	看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3			
		看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1				
		看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	2	2			
		臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	2	1			
		臨床実践Ⅱ	3通	2			1	1		3	1			
		臨床実践Ⅲ	3通	2			1		1	1				
	ファミリーヘルス看護領域	基盤科目Ⅰ	発達看護論	2前	1			3	1					
			ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	2	1		
			援助的人間関係論	4前	1			3						
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1						
			小児看護学方法論	2後	1			1			1			
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1	1		
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1						
			母性看護学方法論	3前	1			1		1				
			看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1			
		精神看護学	精神看護学概論	3前	1			1						
精神看護学方法論			3前	2			1					1		
小児看護学実習			3通	2			1			1	1			
臨地実習	母性看護学実習	3通	2			1		1	1					
	精神看護学実習	3通	2			1					1			
	コミュニティヘルス看護領域	コミュニティヘルス看護概論	1後	1			4		1					
コミュニティヘルス看護領域	基盤科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	4前	1			3	1	2	3	2			
		看護展開論	4後	1								2		
		国際保健論(災害看護論を含む)	4後	1										
		ターミナルケア	4後	1			3	1	2					
	老年看護学	老年看護学概論	1前	1			1							
		看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1	1			
在宅看護学	在宅看護概論	2後	1			1		1						
	看護の基本技術Ⅶ	3前	1			1	1	1	1	3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	臨床看護学	感染看護	2後	1		1	1					
			看護の基本技術Ⅰ	1後	1		1	1	1	1	1	1	
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2			2	2	2	4	3		
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2			3	1	2	3	1		
	臨地実習	看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	4	1		
		看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1	1		
		看護実践の基礎	2前	2			3	2	2	4	1		
		臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	4	1		
		臨床実践Ⅱ	3通	2			1			3	1		
		臨床実践Ⅲ	3通	2			1		1	1			
	ファミリーヘルス看護領域	基盤科目Ⅰ	発達看護論	2前	1			3	1				
			ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	3	1	
			援助的人間関係論	4前	1			3			1		
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
			小児看護学方法論	2後	1			1			1		
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1	1	
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
			母性看護学方法論	3前	1			1		1	1		
			看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1		
		精神看護学	精神看護学概論	3前	1			1					
精神看護学方法論			3前	2			1			1			
小児看護学実習			3通	2			1			1	1		
臨地実習	母性看護学実習	3通	2			1		1	1				
	精神看護学実習	3通	2			1			1				
	コミュニティヘルス看護領域	コミュニティヘルス看護概論	1後	1			6		1				
コミュニティヘルス看護領域	基盤科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	4前	1			4	1	2	3	1		
		看護展開論	4後	1								2	
		国際保健論(災害看護論を含む)	4後	1									
		ターミナルケア	4後	1			3	1	2				
	老年看護学	老年看護学概論	1前	1			1			2			
		看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1	1		
在宅看護学	在宅看護概論	2後	1			1		1	2				
	看護の基本技術Ⅶ	3前	1			1	1	1	1	1			



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学概論 看護の基本技術Ⅸ	2後	1			1						
		2後	1			1		2		1		
	コミュニティヘルス看護領域 臨地実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1		1	1	
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1	
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		1	
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1		
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1	1	
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			1		1		1	
		ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の統合と実践	看護研究入門	3前	1			4		5	4	
	看護研究		4通	2			8	4	5	7		
	看護の役割と実践の探究		4前	1			1	1				
	臨床実践技術の探究		4後	1			1	3	3	5	3	
	看護安全論		4後		1							1
	看護管理論		4前		1							2
	看護哲学		4前		1		4	1				
	チーム活動論		4前		1		3	2	2	5		
	チーム医療演習	4前		1							1	
	看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1	
	保健師専門科目 実習地	公衆衛生看護学の技術	3前		1		1		1		1	
		公衆衛生看護学活動論	3前		2		1		1			
学校保健・産業保健		3前		1							2	
公衆衛生看護管理論		4後		1		1		1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		1		1		1			
	3後		2		1		1		1			
小計(65科目)		-	70	14	0	8	4	5	7	4	9	
自由科目	生物学入門	1前			1						1	
	化学入門	1前			1						1	
	文章表現入門	1前			1		1				1	
	千葉県の地域医療	1前			1		2				1	
	倫理ことはじめ	1前			1		1				1	
小計(5科目)		-	0	0	5	3	1	0	0	0	4	
合計(125科目)		-	111	40	5	8	4	5	7	4	81	
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学概論 看護の基本技術Ⅸ	2後	1			2						
		2後	1			2		2		0		
	コミュニティヘルス看護領域 臨地実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1		1	1	
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	0	
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		0	
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1	1	
		在宅看護実習	3後	1			1	1	1	1	1	
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			2		1		0	
		ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の統合と実践	看護研究入門	3前	1			4		4	6	
	看護研究		4通	2			9	3	5	8		
	看護の役割と実践の探究		4前	1			2	1				
	臨床実践技術の探究		4後	1			1	3	4	7	3	
	看護安全論		4後		1							1
	看護管理論		4前		1							2
	看護哲学		4前		1		3	1				
	チーム活動論		4前		1		3	1	2	5		
	チーム医療演習	4前		1		1					1	
	看護実践の探究	4前	2			9	3	5	8	3		
	保健師専門科目 実習地	公衆衛生看護学の技術	3前		1		2		1		0	
		公衆衛生看護学活動論	3前		2		2		1			
学校保健・産業保健		3前		1							2	
公衆衛生看護管理論		4後		1		2		1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		2		1			0		
	3後		2		2		1			0		
小計(65科目)		-	70	14	0	9	3	5	8	3	8	
自由科目	生物学入門	1前			1						1	
	化学入門	1前			1						1	
	文章表現入門	1前			1		1				1	
	千葉県の地域医療	1前			1		2				1	
	倫理ことはじめ	1前			1		1	1			1	
小計(5科目)		-	0	0	5	3	1	0	0	0	4	
合計(125科目)		-	111	40	5	9	3	5	8	3	100	
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

【平成29年度】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1								1
		情報科学概論	1前	1								1
		化学	1前	1								1
		生物学	1前	1								1
		看護のための物理学	2前	1								1
	語学	実用英語ⅠA	1前		1							2
		実用英語ⅠB	1後		1							2
		実用英語Ⅱ	2前	1								2
		医療英語ⅠA	1後		1							2
		医療英語ⅠB	1前		1							2
		実用英語Ⅲ	2前		1							1
		実用英語Ⅳ	4前		1							1
		医療英語Ⅱ	4前		1		3					1
		実用医療英語	2前		1							1
		ドイツ語入門	1前		1							1
	フランス語入門	1前		1							1	
	中国語入門	1前		1							1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1					1
		コミュニケーション論	1前	1								2
プレゼンテーション論		1前	1								1	
スポーツ健康科学		1前		1							1	
スポーツ健康科学実技		1前		1							4	
人文科学	心理学	1前	1								1	
	教育学	1前	1								1	
	組織論	1前		1							1	
	経済学	1前		1							1	
	社会学	1前		1							1	
	法学 (日本国憲法を含む)	3前		2							1	
	文学	1前		1							1	
	人類学	1前		1							1	
	哲学	1前		1							1	
倫理学	1前		1							1		
小計(32科目)		-	11	22	0	4	0	0	0	0	33	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1								1
		情報科学概論	1前	1								2
		化学	1前	1								1
		生物学	1前	1								1
		看護のための物理学	2前	1								1
	語学	実用英語ⅠA	1前		1							1
		実用英語ⅠB	1後		1							2
		実用英語Ⅱ	2前	1								3
		医療英語ⅠA	1後		1							1
		医療英語ⅠB	1前		1							2
		実用英語Ⅲ	2前		1							1
		実用英語Ⅳ	4前		1							1
		医療英語Ⅱ	4前		1		3					1
		実用医療英語	2前		1							1
		ドイツ語入門	1前		1							1
	フランス語入門	1前		1							1	
	中国語入門	1前		1							1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1					1
		コミュニケーション論	1前	1								2
プレゼンテーション論		1前	1								1	
スポーツ健康科学		1前		1							1	
スポーツ健康科学実技		1前		1							3	
人文科学	心理学	1前	1								1	
	教育学	1前	1								1	
	組織論	1前		1							1	
	経済学	1前		1							1	
	社会学	1前		1							1	
	法学 (日本国憲法を含む)	3前		2							1	
	文学	1前		1							1	
	人類学	1前		1							1	
	哲学	1前		1							1	
倫理学	1前		1							1		
小計(32科目)		-	11	22	0	4	0	0	0	0	33	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								2	
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								2	
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2								1	
		生化学	1後	1								1	
		臨床栄養学	2前	1								2	
		微生物学	1後	1								6	
		疾病と治療Ⅰ	1後	2								3	
		疾病と治療Ⅱ	2前	2								6	
		疾病と治療Ⅲ	2前	2								6	
		疾病と治療Ⅳ	3前	2								4	
		疾病と治療Ⅴ	3前	1			1					5	
		薬理学	1後	2								2	
		薬剤学	1後	1								2	
	リハビリテーション論	2前	1								1		
	臨床遺伝学	2前		1							1		
	臨床心理学	2前		1							1		
	社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2								1	
		社会保障制度	3前	2								1	
		研究方法の基礎	3前	1			1					3	
		保健統計と情報処理	3前	1				1				1	
疫学と公衆衛生		3前	2								1		
健康生活支援論		4前		1							1		
政策形成過程論		3前		1							1		
小計(23科目)		-	30	4	0	2	0	1	0	0	46		
専門教育科目	トランスレーショナル看護学	看護学概論	1前	1			2						
		臨床看護学概論	1後	1			1						
		看護倫理学	4前	1			1						
		看護理論	1後	1			3	1					
		トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1				
		看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2		
		機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1					
		周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1			
		がん看護・緩和ケア	3前	1			1			1			
		臨床看護学	看護学概論	1前	1							2	
			臨床看護学概論	1後	1							1	
			看護倫理学	4前	1							1	
			看護理論	1後	1				3	1			
	トランスレーショナルへの挑戦		1前	1				1	2	1			
	看護展開論		2前	1				1	3	2	2	2	
	機能障害のある患者の看護		2前	2				1	1				
	周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2				1		1	1			
	がん看護・緩和ケア	3前	1				1			1			
	小計(23科目)		-	30	4	0	2	0	1	0	0	46	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学 看護の基本技術Ⅸ	2後	1			1						
		2後	1			1		2		1		
	コミュニティヘルス看護領域 臨地実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1		1	1	
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1	
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		1	
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1		1	3
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1	1	
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			1		1		1	
		ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の統合と実践	看護研究入門	3前	1			4		5	4	
	看護研究		4通	2			8	4	5	7		
	看護の役割と実践の探究		4前	1			1	1				
	臨床実践技術の探究		4後	1			1	3	3	5	3	
	看護安全論		4後		1							1
	看護管理論		4前		1							2
	看護哲学		4前		1		4	1				
	チーム活動論		4前		1		3	2	2	5		
	チーム医療演習	4前		1							1	
	看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1	
	保健師専門科目 実習地	公衆衛生看護学の技術	3前		1		1		1		1	
		公衆衛生看護学活動論	3前		2		1		1			
学校保健・産業保健		3前		1				1			2	
公衆衛生看護管理論		4後		1		1		1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		1		1		1			
	3後		2		1		1		1			
小計(65科目)			-	70	14	0	8	4	5	7	4	15
自由科目	生物学入門	1前			1						1	
	化学入門	1前			1						1	
	文章表現入門	1前			1		1				1	
	千葉県の地域医療	1前			1		2				1	
	倫理ことはじめ	1前			1		1				1	
小計(5科目)			-	0	0	5	3	1	0	0	0	4
合計(125科目)			-	111	40	5	9	4	5	7	4	93
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学 看護の基本技術Ⅸ	2後	1			1						
		2後	1			1		2		1		
	コミュニティヘルス看護領域 臨地実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1		1	2	
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1	
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		1	
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1		
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1	1	
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			1		1		1	
		ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の統合と実践	看護研究入門	3前	1			4		5	4	
	看護研究		4通	2			8	4	5	7		
	看護の役割と実践の探究		4前	1			1	1				
	臨床実践技術の探究		4後	1			1	3	3	5	3	
	看護安全論		4後		1							1
	看護管理論		4前		1							2
	看護哲学		4前		1		4	1				
	チーム活動論		4前		1		3	2	2	5		
	チーム医療演習	4前		1							1	
	看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1	
	保健師専門科目 実習地	公衆衛生看護学の技術	3前		1		1		1		1	
		公衆衛生看護学活動論	3前		2		1		1			
学校保健・産業保健		3前		1				1			2	
公衆衛生看護管理論		4後		1		1		1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		1		1		1			
	3後		2		1		1		1			
小計(65科目)			-	70	14	0	8	4	5	7	4	10
自由科目	生物学入門	1前			1						1	
	化学入門	1前			1						1	
	文章表現入門	1前			1		1				1	
	千葉県の地域医療	1前			1		2				1	
	倫理ことはじめ	1前			1		1	1			1	
小計(5科目)			-	0	0	5	3	1	0	0	0	4
合計(125科目)			-	111	40	5	9	4	5	7	4	87
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 教 育 科 目	自然科学概論	1前	1								1	
	情報科学概論	1前	1								2	
	化学	1前	1								2	
	生物学	1前	1								1	
	看護のための物理学	2前	1								1	
	語 学	実用英語ⅠA	1前		1							1
		実用英語ⅠB	1後		1							2
		実用英語Ⅱ	2前	1								3
		医療英語ⅠA	1後		1							1
		医療英語ⅠB	1前		1							2
		実用英語Ⅲ	2前		1							1
		実用英語Ⅳ	4前		1							1
		医療英語Ⅱ	4前		1		3					
		実用医療英語	2前		1							1
		ドイツ語入門	1前		1							1
		フランス語入門	1前		1							1
	中国語入門	1前		1							1	
	健 康 科 学	健康科学概論	1前	1			1					1
		コミュニケーション論	1前	1								2
		プレゼンテーション論	1前	1								1
		スポーツ健康科学	1前		1							1
		スポーツ健康科学実技	1前		1							5
	人 文 科 学	心理学	1前	1								1
		教育学	1前	1								1
		組織論	1前		1							1
		経済学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学 (日本国憲法を含む)	3前		2							4
		文学	1前		1							1
		人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
	倫理学	1前		1							1	
小計(32科目)		-	11	22	0	4	0	0	0	0	38	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								1	
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								1	
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2								2	
		生化学	1後	1								1	
		臨床栄養学	2前	1								2	
		微生物学	1後	1								4	
		疾病と治療Ⅰ	1後	2								3	
		疾病と治療Ⅱ	2前	2								6	
		疾病と治療Ⅲ	2前	2								6	
		疾病と治療Ⅳ	3前	2								4	
		疾病と治療Ⅴ	3前	1			1					5	
		薬理学	1後	2								2	
		薬剤学	1後	1								2	
		リハビリテーション論	2前	1								1	
		臨床遺伝学	2前		1							1	
	臨床心理学	2前		1							2		
	社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2								3	
		社会保障制度	3前	2								3	
		研究方法の基礎	3前	1			1					3	
		保健統計と情報処理	3前	1			1		1				
		疫学と公衆衛生	3前	2								1	
		健康生活支援論	4前		1							1	
		政策形成過程論	3前		1							3	
小計(23科目)			-	30	4	0	3	0	1	0	0	48	
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	臨床看護学	看護学概論	1前	1			2					
			臨床看護学概論	1後	1			1					
			看護倫理学	4前	1			1					
			看護理論	1後	1			3	1				
			トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1			
			看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2	
			機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1				
			周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1		
			がん看護・緩和ケア	3前	1			1			1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	臨床看護学	感染看護	2後	1			1	1				
			看護の基本技術Ⅰ	1後	1			1	1	1	1		
			看護の基本技術Ⅱ	2前	2				2	2	2	3	
			看護の基本技術Ⅲ	2後	2				3	1	2	1	
		看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3		
		臨地実習	看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1		
			看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	4	3	
			臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	4	3	
	臨床実践Ⅱ		3通	2			1	1		3	1		
	臨床実践Ⅲ		3通	2			1		1	1			
	ファミリーヘルス看護領域	基盤科目Ⅰ	発達看護論	2前	1			3	1				
			ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	3	1	
			援助的人間関係論	4前	1			3					
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
			小児看護学方法論	2後	1			1			1		
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1	1	
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
			母性看護学方法論	3前	1			1		1	1		
			看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1		
		精神看護学	精神看護学概論	3前	1			1					
			精神看護学方法論	3前	2			1			1		
			小児看護学実習	3通	2			1			1	1	
	臨地実習	母性看護学実習	3通	2			1		1	1			
		精神看護学実習	3通	2			1			1			
	コミュニティヘルス看護領域	基盤科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	1後	1			6		1			
			コミュニティヘルス看護展開論	4前	1			4	1	2	3	2	
			国際保健論(災害看護論を含む)	4後	1								2
			ターミナルケア	4後	1			3	1	2			
		老年看護学	老年看護学概論	1前	1			2					
看護の基本技術Ⅶ			2前	2			1	1	1	1	2		
在宅看護概論			2後	1			2		1				
在宅看護論	3前	1			1	1	1	1	3				



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学 看護学	公衆衛生看護学概論	2後	1			3					
		看護の基本技術Ⅸ	2後	1			2		2		1	
	コミュニティヘルス看護領域 臨地実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1		1	2	
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1	
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		1	
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1		
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1	1	
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			3		1		1	
		ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の統合と実践	看護研究入門	3前	1			4		5	4	
	看護研究		4通	2			9	4	5	8		
	看護の役割と実践の探究		4前	1			2	1				
	臨床実践技術の探究		4後	1			1	3	3	5	3	
	看護安全論		4後		1							1
	看護管理論		4前		1							2
	看護哲学		4前		1		4	1				
	チーム活動論		4前		1		3	2	2	5		
	チーム医療演習	4前		1							1	
	実地 看護	看護実践の探究	4前	2			9	4	5	7	4	
	保健師専門科目 実地 実習	公衆衛生看護学の技術	3前		1		3		1		1	
		公衆衛生看護学活動論	3前		2		3		1			
学校保健・産業保健		3前		1							2	
公衆衛生看護管理論		4後		1		2		1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ		3後		2		3		1		1		
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3後		2		3		1		1			
小計(65科目)			-	70	14	0	10	4	5	8	4	8
自由科目	生物学入門	1前			1							1
	化学入門	1前			1							1
	文章表現入門	1前			1		1					1
	千葉県の地域医療	1前			1	2						1
	倫理ことはじめ	1前			1	1	1					1
小計(5科目)			-	0	0	5	3	1	0	0	0	4
合計(125科目)			-	111	40	5	10	4	5	8	4	94
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・申請時のご記入により、「実用医療英語」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・入学定員超過により、「実用英語ⅠA」「実用英語ⅠB」「医療英語ⅠA」「医療英語ⅠB」「スポーツ健康科学実技」「看護の基本技術Ⅰ」「看護入門実習Ⅱ」「看護入門実習Ⅰ」の兼任講師または兼任講師を各1名増員。
- ・担当予定者勤務地変更により、「人体の構造と機能Ⅰ」「人体の構造と機能Ⅱ」の科目に兼任講師を1名増員。
- ・実習の円滑・安全な実施のため、「微生物学」の兼任講師を4名増員。
- ・「薬理学」においては、兼任講師の退職により1名減員。

【平成30年度】

- ・入学定員超過となっていた平成29年度入学者が2年次に進級したため、平成29年度に兼任講師・兼任講師等で増員した1年次開講科目のうち、以下の科目について担当者の減員を行った。  
「実用英語ⅠA」「医療英語ⅠA」「スポーツ健康科学実技」「微生物学」「看護の基本技術Ⅰ」「看護入門実習Ⅱ」「看護入門実習Ⅰ」
- ・2年次開講科目は履修学生が増員することから、「実用英語Ⅱ」について兼任講師の増員を行った。
- ・演習および実習科目について、一部の助手の採用を前倒しし、「看護の基本技術Ⅱ」「看護実践の基礎」「臨床実践Ⅰ」「看護の基本技術Ⅶ」「老年看護学実習Ⅰ」の5科目の担当者として追加した。
- ・本年度より「非常勤助手」の職階を設定し、「看護の基本技術Ⅱ」「看護の基本技術Ⅲ」「看護実践の基礎」「臨床実践Ⅰ」の担当者として追加した。
- ・科目内容の見直しにより、「情報科学概論」「人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ」および「臨床心理学」の担当教員数を変更した。

【令和元年度】

- ・平成29年4月採用の教授1名(美ノ谷新子)の担当科目が授業科目表に反映されていなかったため修正を行った(保健統計と情報処理、コミュニティヘルス看護概論、コミュニティヘルス看護展開論、老年看護学概論、公衆衛生看護学概論、コミュニティヘルス看護実習、看護研究、看護の役割と実践の探究、看護実践の探究、公衆衛生看護学の技術、公衆衛生看護学活動論、公衆衛生看護学管理論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱ、在宅看護概論)。
- ・教員の新規着任等の事由により、看護実践の基礎、臨床実践Ⅰ、ファミリーヘルス看護論、小児看護学方法論、母性看護学方法論、精神看護学方法論、精神看護学実習、コミュニティヘルス看護概論、看護の基本技術Ⅷ、コミュニティヘルス看護実習、看護研究、公衆衛生看護学の技術、公衆衛生看護学活動論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱの担当者数を変更した。
- ・兼任・兼任担当科目の科目内容の変更または担当者の辞退により、担当者数を変更した(化学、スポーツ健康科学実技、法学(日本国憲法を含む)、保健医療福祉行政論、社会保障制度、政策形成過程論、精神看護学実習)。
- ・平成30年度の報告の際、医療英語Ⅱの担当者を誤って報告していたため、今回修正した(准教授3⇒教授3)。

【令和2年度】

- ・准教授1名の退職により、看護展開論、機能障害のある患者の看護、看護の基本技術Ⅲ、看護実践の基礎、臨床実践Ⅰ、臨床実践Ⅱ、看護研究、臨床実践技術の探究、チーム活動論、看護実践の探究の各科目の担当者数を変更した。
- ・助手1名の退職により、助手の担当科目を見直し、看護展開論、看護の基本技術Ⅰ、看護の基本技術Ⅱ、看護の基本技術Ⅳ、看護入門実習Ⅱ、看護実践の基礎、臨床実践Ⅰ、コミュニティヘルス看護展開論、看護の基本技術Ⅶ、看護の基本技術Ⅷ、看護の基本技術Ⅸ、老年看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅲ、看護入門実習Ⅰ、コミュニティヘルス看護実習、看護実践の探究、公衆衛生看護学の技術、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱの各科目の担当者数を変更した。
- ・兼任・兼任講師担当の変更により、化学、臨床栄養学、疾病と治療Ⅱ、疾病と治療Ⅲ、疫学と公衆衛生の各科目の担当者数を変更した。
- ・コミュニティヘルス看護領域の教員の退職、新規採用により、公衆衛生看護学概論、在宅看護実習、コミュニティヘルス看護実習、看護哲学、公衆衛生看護学の技術、公衆衛生看護学活動論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱの各科目の担当者数を変更した。
- ・援助的人間関係論の担当者として、助教1名を追加した。
- ・チーム医療演習(全学共通科目)の担当者として、教授1名を追加した。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
84 科目	36 科目	5 科目	125 科目	84 科目 [ 0 ]	36 科目 [ 0 ]	5 科目 [ 0 ]	125 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	チーム医療演習	1	2	一般	選択	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大のため
2	実用医療英語	1	4	一般	選択	新型コロナウイルス感染症（COVID-20）の感染拡大のため
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

実用医療英語およびチーム医療演習は、本学の共通教育科目であり、履修者数を制限して開講しており、また、いずれも選択科目であることから、学生の履修への影響は無いと判断している。学生には学内の掲示板等で開講しない旨の掲示を行い、周知を図る。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{2}{125} = \boxed{1.6} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	○校舎敷地 (借用) 須佐知行 1014.87㎡ S47.31~ H44.02.末 R14.02.末 譲り入れのため(29) 薬草園一部売却のため (元) 薬草園一部売却のため (2) 旧・佐倉看護専門学校の 諸施設が、大学に変更さ れたため(2)					
	校舎敷地	169,660.54㎡ 170-138-14㎡ 170-239-24㎡ 177-927-94㎡	0㎡	0㎡	169,660.54㎡ 170-138-14㎡ 170-239-24㎡ 177-927-94㎡						
	運動場用地	52,476.78㎡ 54,338.16㎡ 55,511.07㎡	0㎡	0㎡	52,476.78㎡ 54,338.16㎡ 55,511.07㎡						
	小 計	222,137.32㎡ 224,476.30㎡ 234,750.31㎡ 233,439.01㎡	0㎡	0㎡	222,137.32㎡ (元) 224,476.30㎡ 234,750.31㎡ 233,439.01㎡						
	そ の 他	13,058.63㎡ 12,426.51㎡ 26,578.60㎡ 27,541.85㎡	0㎡	0㎡	13,058.63㎡ 12,426.51㎡ 26,578.60㎡ 27,541.85㎡						
	合 計	235,195.95㎡ 236,902.81㎡ 261,328.81㎡ 260,980.86㎡	0㎡	0㎡	235,195.95㎡ 236,902.81㎡ 261,328.81㎡ 260,980.86㎡						
(2) 校 舎	専 用	115,171.17㎡ 102,776.81㎡ 129,278.34㎡	0㎡	0㎡	115,171.17㎡ 102,776.81㎡ 129,278.34㎡	譲り入れのため。(29) 延べ床面積で算出したた め。(元)					
	(115,171.17㎡) (102,776.81㎡) (129,278.34㎡)	( )	( )	(115,171.17㎡) (102,776.81㎡) (129,278.34㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	88室 81室	演 習 室	47室 36室	実験実習室	63室	情報処理学習施設	5室 6室	語学学習施設	0室	大学全体 1717㎡の大幅な改修 のため(30) 多目的室等改修のため (2)
							(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数		大学全体 495研究室				
	健康科学部 看護学科				23		室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	電子ジャーナルは、大学全体で の共有分、図書、学術雑誌、視聴 覚資料については、薬学部・理 学部での共有分、大学全体での共 用分を含む。 図書(全体) 434,650冊(160,643冊) 434,304冊(163,270冊) 440,245冊(166,866冊) 448,255冊(170,856冊) 448,854冊(171,855冊) 学術雑誌(全体) 4,870冊(2,494冊) 4,903冊(2,509冊) 4,982冊(2,528冊) 6,046冊(2,542冊) 健康科学部の完成年度に伴い、 調整している(2) 大橋南館移転に伴い、雑誌学術 雑誌等の除籍に伴い減少。 (元) 図書・雑誌・視聴覚資料の増減 分は、計画的除籍を前提のため、 電子ジャーナルは有料契約 から無料公開に移したため (30) 図書・雑誌・視聴覚資料の増減 分は、新規購入・除籍のため、 電子ジャーナルは契約タイトル 数の変更のため。(29)			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕								〔うち外国書〕
	健康科学部	冊	種	種	点	点	点	点	点	点	
		209,353(76,912) 209,311(78,831) 213,760(80,445) 219,944(83,466) 221,524(83,908)	1,581(975) 1,576(975) 1,586(992)	10,140(8,611) 8,724(7,299) 9,700(8,153) 10,149(8,150) 10,159(8,231)	3,058 2,746 2,923 3,031 3,057	47,235 46,622 45,798 30,219 30,269	0	0	0	0	
	計	冊	種	種	点	点	点	点	点	点	
209,353(76,912) 209,311(78,831) 213,760(80,445) 219,944(83,466) 221,524(83,908)		1,581(975) 1,576(975) 1,586(992)	10,140(8,611) 8,724(7,299) 9,700(8,153) 10,149(8,150) 10,159(8,231)	3,058 2,746 2,923 3,031 3,057	47,235 46,622 45,798 30,219 30,269	0	0	0	0		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 1717㎡の大幅な改修のため(2) 座席割付方法の見直しを 行ったため(元) 1717㎡の大幅な改修 のため(30) 1717㎡の大幅な改修のため (29)				
	6,517.65㎡ 7,433.04㎡ 6,965.12㎡	752席 748席 675席 623席 629席	486,408冊 481,802冊 513,519冊 534,024冊 537,320冊								
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				弓道場射場				
	8,315.58㎡										
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書館費には電子ジャーナル・データベースの整備費・その他の経費(運用コストを含む)を含む。経費の見積りについては、既存学部と調整の上、変更した。(29) 図書館費においては、その他経費の追加に伴い増額。(29) 経費の見積りについては、既存学部と調整の上、変更した。(30) 経費の見積りについては、年度計画に基づき、変更した。(元) 経費の見積りについては、完成年度に伴い、見直しした。(2)		
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	6,000千円	47,879千円 47,870千円 47,995千円 47,953千円 6,000千円	47,879千円 47,870千円 47,995千円 47,953千円 6,000千円			
	共同研究費等	5,875千円 5,625千円	5,875千円 5,625千円	設備購入費	75,822千円	1,575千円 12,868千円 3,748千円 8,125千円 75,822千円	1,575千円 12,868千円 3,748千円 8,125千円 75,822千円				
		学生1人当り納付金	第1年次 1,700千円	第2年次 1,700千円	第3年次 1,700千円	第4年次 1,700千円	第5年次 千円	第6年次 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)

・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。

・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東 邦 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医学部											
医学科	6	115	-	690	学士 (医学)	1.00	1.00		昭和27	東京都大田区大森西五丁目21番16号	※平成27 医学部医学科入学定 員増(5名) 平成31までの臨時定 員増。
薬学部											
薬学科	6	220	-	1,320	学士 (薬学)	1.13	1.09		平成18	千葉県船橋市三山二丁目2番1号	※令和2 医学部医学科入学定 員増(5名) 令和3までの臨時定 員増。
理学部						1.09	1.07				
化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.13	1.08		昭和25	同上	
生物学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.11	1.05		昭和25	同上	
生物分子科学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.06	1.05		平成元	同上	
物理学科	4	70	-	280	学士 (理学)	1.11	1.12		昭和58	同上	
情報科学科	4	100	-	400	学士 (理学)	1.05	1.06		平成元	同上	
生命圏 環境科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.10	1.08		平成17	同上	
看護学部											
看護学科	4	102	-	408	学士 (看護学)	1.09	1.07		平成23	東京都大田区大森西五丁目21番16号	
健康科学部											
看護学科	4	60	-	240	学士 (看護学)	1.13	1.08	平成29	平成29	千葉県船橋市三山二丁目2番1号	
大学全体(学部)		967		4,538	-	1.08	1.06	-	-	-	
医学研究科											
医科学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (医科学)	0.60	0.40		平成18	東京都大田区大森西五丁目21番16号	
医学専攻 (博士課程)	4	35	-	140	博士 (医学)	0.84	0.62		平成22	同上	
薬学研究科											
薬科学専攻 (修士課程)	2	10	-	20	修士 (薬科学)	0.35	0.20		平成22	千葉県船橋市三山二丁目2番1号	
医療薬学専攻 (博士課程)	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.10	1.60		平成24	同上	

理学研究科									
化学専攻 (博士前期課程)	2	16	-	32	修士 (理学)	1.46	1.68	昭和57	同上
化学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.22	0.00	昭和59	同上
生物学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (理学)	0.86	0.86	昭和57	同上
生物学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.55	0.33	昭和59	同上
生物分子科学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.74	0.55	平成5	同上
生物分子科学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.00	0.00	平成7	同上
物理学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.99	0.88	昭和61	同上
物理学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.22	0.00	昭和63	同上
情報科学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.38	0.27	平成5	同上
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.33	0.66	平成8	同上
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	6	-	12	修士 (理学)	1.83	2.16	平成21	同上
環境科学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (理学)	0.33	0.50	平成23	同上
看護学研究科									
看護学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (看護学)	0.49	0.53	平成25	東京都大田区大森西五丁目21番16号
看護学専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (看護学)	0.53	0.60	平成25	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

該当なし

【平成30年度】

該当なし

【令和元年度】

丸山俊一郎助教の就任辞退により、水流添秀行助教を平成31年4月1日付で採用。  
丸山美知子教授を平成31年4月1日付で採用。  
中嶋秀明助教を平成31年4月1日付で採用。

【令和2年度】

米澤純子教授が令和元年4月1日より休職したため、同日付で丸山美知子教授を採用した。しかしながら米澤教授および丸山教授が令和元年8月31日付で退職したため、土屋陽子教授を令和元年9月1日付で採用した。土屋陽子教授は令和2年3月31日付で退職し、後任に小坂橋恵美子教授を令和2年4月1日付で採用した。高橋良幸准教授が令和2年3月31日付で退職となった。後任を令和2年6月1日付で採用予定として、現在、人事を進めている。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	4	5	7	24	4	9	3	5	8	25	3
(7)	(2)	(2)	(1)	(12)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	3	5	8	25	3	9	3	5	8	25	3
[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65（教授）		
60（准教授、講 師、助教）	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{24} = \boxed{104.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{25} = \boxed{8} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{3}{4} = \boxed{75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
4	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	5	科目	自由	5	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
5	人	必修	21	科目	必修	21	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	5	科目	自由	5	科目	自由	0	科目
		計	29	科目	計	29	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{24} = 20.83 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし	必修							
			選択							
			必修							
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した教員の担当科目については、本学部の専任教員が後任を務めていることから、学生の履修等への影響は特にない。また、科目担当者の変更については、シラバスへの記載、学生への掲示等で周知を徹底した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	・健康科学部看護学科 の入学定員超過の改善 に努めること。	改善意見  学定員の大幅に超過した反 省を踏まえ、入試の合格者 の繰り上げ方法等を学部と して見直し、入学超過率は 1.08倍に低下した。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年3月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <健康科学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

平成29年4月1日より、「東邦大学健康科学部FD委員会」を設置した（添付資料：「東邦大学健康科学部FD委員会規程」）。また、下部組織として「FD企画検討会」（教員4名）、「研究推進検討会」（教員4名）、「連携推進検討会」（教員3名）を置く。平成31年度・令和元年より「FD企画検討会」と「連携推進検討会」は委員会に吸収し、「研究推進検討会」を「健康科学ジャーナル編集会」（教員5名）に名称変更し下部組織に置いている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

原則として毎月第4水曜日に開催する。出席者は委員3名、平成31年5名および担当事務職員（教務事務担当）。

###### c 委員会の審議事項等

新任・新人教員FD、教育ワークショップ、研究推進FD等の企画・立案および実施

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

###### 1) 新任教員・新人教員FD

新任教員FD（5月29日（水）開催）

目的：本学に関する基礎知識を得て、教育・研究・社会貢献活動においてスムーズな役割遂行ができる

内容：健康科学部設立の経緯について

本学の組織・教育と本学部の教員の役割（大学・学部の組織目標と概要、本学部教員の役割等）

委員会の概要（大学関連委員会について）

新人教員FD 4回シリーズで実施

1回目（5月29日（水）開催）

内容：本学の教員の役割と今後の教育・研究活動について

助教・助手の役割について先輩方からの講演と意見交換

2回目（12月18日～動画配信視聴）

内容：「大学新任教員のための研修会2019」の動画配信視聴

※日本私立看護系大学協会「大学新任教員のための研修会2019」（8月・10月の地方開催）

3回目（2月16日（日）開催：希望者のみ参加）

内容：看護学士課程における学生のコンピテンシーの育成（コアコンピテンシーと卒業時到達目標の有効活用）

※日本看護系大学協議会開催（看護学教育評価検討委員会企画ワークショップ）

4回目（3月5日（木）開催）

内容：第2回、第3回の研修会報告と学びについて（意見交換）

1年間の振り返りと今後の目標について

2) 第3回教育ワークショップ（令和元年8月6日（火）13：00～16：20 開催）

目的：アクティブラーニング推進に向け、Ipadの活用促進を図るとともに、他大学におけるICT教育の現状を知り理解を深める。

①第一部：講演「本学部に導入しているIpad（電子教科書）の活用（基礎版・応用編）

演者：安田翔太氏・岩堀勝一氏（メディカ出版株式会社）

②第二部：講演「ICT教育について（アクティブラーニングの一環として）

演者：Raoul Breugelmans氏（東京医科大学 医学教育推進センター 医療教育学准教授）

3) 研究推進FD（令和元年8月6日（火）16：30～18：00 開催）

目的：科研費獲得を中心として研究力の促進を図る

講演「科研費獲得に向けて」

演者：梶谷 宇氏（了徳寺大学 医学教育センター教授）

4) 東邦大学健康科学ジャーナル第2巻（12月）、第3巻の発刊

\* いずれも東邦大学機関リポジトリ、健康科学部ホームページに掲載。

5) 社会貢献・連携活動の集約

令和元年度の健康科学部教職員の社会貢献・連携活動

- ・地域におけるボランティア活動等 9件
- ・地域への保健医療活動 1件
- ・審議会、委員会等 2件
- ・職能団体委員等 6件
- ・学会、学術団体への貢献 50件
- ・講演会（公開講座を含む）／研修会の講師・研究指導等 41件
- ・その他 5件

b 実施方法

上記a参照

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・新任教員FD：新任教員7名、教員5名 計12名
- ・新人教員FD：第1回 新人教員3名、教員10名 計13名  
第2回 新人教員3名、教員6名 計9名  
第3回 新人教員1名  
第4回 新人教員3名、教員6名 計9名
- ・第3回教育ワークショップ：健康科学部教員26名、教務事務3名 計29名（なお、欠席者は動画視聴）
- ・研究推進FD：健康科学部教員24名、教務事務4名 計28名（なお、欠席者は動画視聴）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育ワークショップにおけるipadの活用については、その後行われた授業（演習・実習）に活用されている。またICT教育に関しては、令和2年4月以降のオンライン授業にいかされている。なお内容は報告書（PDF版）として取りまとめ、教職員での情報の共有化を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

教務委員会を中心に、「評価に基づく授業の改善」を目的とし、授業評価アンケートを実施している。

アンケートの対象は全授業科目とし、教務システム（Active Academy）を用い、オンライン上で実施している。

実施時期は、講義・演習および実習の最終日から3日以内（終了日を含めて4日間）に回答するようになっている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの結果は教務システム上で公開し、学生、教員とも結果を閲覧できる。公開の時期は定期試験終了後2週間としている。アンケート結果公開後、科目担当者より結果に対するコメントを提出させ、学生にフィードバックしている。

なお、兼任・兼担講師などで教務システムを利用できない教員に対しては、紙ベースで結果を知らせるなど、周知徹底を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康科学部看護学科は、本学の建学の精神である「自然・生命・人間」に基づき、千葉県の看護師需給事情の解消に努めるとともに、時代に即した「地域完結型医療」を目指した看護教育の実践により、豊かな人間性を有した人材を育成することを目的に設置した。2016（平成28）年4月27日付の「東邦大学健康科学部看護学科設置届出に係る提出書類」に付した「設置の趣旨等を記載した書類」の項目ごとの達成状況、届出時と令和2年5月1日現在との変更状況等について記述する。

#### 1. 設置の趣旨及び必要性

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。

#### 2. 学部・学科等の特色

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。アドミッション、カリキュラム、ディプロマの3ポリシーはホームページ (<https://www.toho-u.ac.jp/health/index.html>) に掲載し、周知を図っている。

#### 3. 学部・学科等の名称及び学位の名称

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。

#### 4. 教育課程の編成の考え方及び特色

平成29年度春学期（前期）から令和元年度秋学期（後期）開講科目については、未開講の科目はなく、予定していた科目のすべてを開講することができた。

令和2年度春学期（前期）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大、さらには緊急事態宣言の発出等の事由により、全学の方針に基づき、以下の対応をとることとなった。

1) 4月20日（月）より遠隔授業、課題等によるオンライン授業を開始した。当初は5月7日（木）以降、キャンパスにおける対面式授業を開始する予定であったが、緊急事態宣言の延長等、先行きが不透明な状況であったことから、5月7日（木）以降も引き続きオンライン授業を行うことを4月15日（水）に開催した全学の検討会議で決定し、4月17日（金）付でホームページで学生・保護者に対して公表した。当面の間、オンライン授業を実施し、状況が好転し、対面式授業が実施可能な状況になった場合、開始時期等を再度検討のうえ、公表することとしている。

2) 春学期（前期）に開講予定であった臨地実習については、以下のとおり取り扱うこととなった。

① 2年生開講科目「看護実践の基礎」（必修・2単位）は実習施設の実習生受入が困難であったことから、秋学期（後期）に開講することとした。これにより実習前に開講する学内での演習科目「看護の基本技術Ⅱ」（必修・2単位）は一部8月に開講することとした。なお、臨地実習に向けた演習科目で、春学期（前期）に開講する科目は6科目あることから、実施の方法（対面式またはオンライン式）については今後の情勢により判断する。

② 4年生開講科目「看護実践の探究」（必修・2単位）は実習施設の実習生受入が困難であったことから、学内で実施することとした。なお、令和2年2月28日付の文部科学省および厚生労働省より発出された事務連絡に基づき、実習の質を担保したうえで実施する。

3) 春学期（前期）に開講予定であった1年生開講科目「スポーツ健康科学実技」（選択・1単位）は、秋学期（後期）に開講することとした。

4) 春学期（前期）に開講予定であった全学共通教育科目の2年生開講科目「実用医療英語」（選択・1単位）および4年生開講科目「チーム医療演習」（選択・1単位）の開講をそれぞれ中止とした。

なお、教員の辞退等の事由により未開講の予定となっている科目はない。また、教育課程の編成は「健康科学部教務委員会」において随時検討を行っている。

5. 教員組織の編成の考え方及び特色  
専任教員については、平成31年度（令和元年度）の設置計画履行状況報告以来、以下のとおり変更が生じた。
- 1) 令和元年8月31日付で公衆衛生看護学領域の教授および特任教授が退職となった。そのため、令和元年9月1日付で同領域の特任教授1名を採用した。採用当初より、令和2年3月31日付で退職予定となっていたことから、令和2年4月1日付で教授1名を採用した。
  - 2) 令和2年3月31日付でトランスレーショナル看護領域の准教授1名が退職となった。後任を令和2年6月1日付で採用するため、現在、人事を進めている。
- 退職教員の担当予定科目については、すべて専任教員が担当することとなっており、退職に伴う問題点等は発生していない。
- また、令和2年3月31日付で助手の1名が退職し、令和2年度は助手が3名となっているが、後任の採用を予定している。引き続き、主に臨地実習の補助などを担当する。
6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件  
平成29年度の設置計画履行状況報告以来、教育方法に変更は生じていない。なお、履修指導方法および卒業要件についても届出時と変更はない。
7. 施設、設備等の整備計画  
当初計画していた備品等の購入は、計画どおり順調に履行している。
8. 入学者選抜の概要  
アドミッション・ポリシーに基づき、当初計画していた入試および令和2年度入試より新たに導入した同窓生子女入試およびセンター試験入試+（プラス）をすべて実施し、順調に計画を履行している。特に入学者数管理については引き続き慎重な繰上げ合格を実施し、最終的な入学者は65名、定員超過は1.08倍となった。
9. 取得可能な資格  
届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。
10. 実習の具体的計画  
上記「4. 教育課程の編成の考え方及び特色」にも記したが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染の拡大、さらには緊急事態宣言の発出等の事由により、全学の方針に基づき、令和2年度春学期（前期）の臨地実習の計画に以下のとおり変更が生じている。
- ①2年生開講科目「看護実践の基礎」（必修・2単位）は実習施設の実習生受入が困難であったことから、秋学期（後期）に開講することとした。これにより実習前に開講する学内での演習科目「看護の基本技術Ⅱ」（必修・2単位）は一部8月に開講することとした。なお、臨地実習に向けた演習科目で、春学期（前期）に開講する科目は6科目あることから、実施の方法（対面式またはオンライン式）については今後の情勢により判断する。
  - ②4年生開講科目「看護実践の探究」（必修・2単位）は実習施設の実習生受入が困難であったことから、学内で実施することとした。なお、令和2年2月28日付の文部科学省および厚生労働省より発出された事務連絡に基づき、実習の質を担保したうえで実施する。
11. 管理運営  
当初の計画どおりに履行している。
- 教授会は令和2年5月1日現在、専任の教授7名により構成され、原則として毎月第1水曜日に実施する。また、特任教授2名もオブザーバーとして参加する。
- 准教授、講師および助教の健康科学部専任教員が参加する教員会も開催し、学部長による教授会報告の他、各種連絡事項の報告、懸案事項の検討等を行い、健康科学部を構成する全教員が情報を共有し、学生教育および学部運営の円滑な実施を目指している。

## 12. 自己点検・評価

本学の他学部と同様、健康科学部においても「東邦大学健康科学部自己点検・評価委員会規程」を平成29年4月1日より施行し、委員会が発足している。平成31年度（令和元年度）は本評価の受審の対応を主として行った。

### ○学部の内部質保証の取組み

・各委員会および教員組織の各領域の活動の振り返り：

委員会の任務や学部の組織目標に照らして平成31年度（令和元年度）に関する年間の活動の総括を実施した。その結果および平成31年度（令和元年度）の学部組織目標を踏まえて令和2年度の活動計画を立案している。

・年報の編集実務は自己点検・評価委員会を中心に行い、平成30年度年報を作成し、教職員間で情報共有を図っている。

## 13. 情報の公表

### ○大学の教育研究上の目的に関すること

トップページ>健康科学部>学部のご紹介>学部の特色・目的  
(<https://www.toho-u.ac.jp/health/course/feature.html>)

### ○入学者に関する受入れ方針

トップページ>健康科学部>入試について>入試情報/アドミッション・ポリシー  
([https://www.toho-u.ac.jp/health/info\\_exam/sum.html](https://www.toho-u.ac.jp/health/info_exam/sum.html))

### ○卒業又は修了した者の数、進学者数及び就職者数、就職等の状況に関すること

\* 開設3年目のため未開設

### ○授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

\* 現在、シラバスの掲載を準備作業中

### ○学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

トップページ>健康科学部>教育内容>カリキュラム>カリキュラムについて  
([https://www.toho-u.ac.jp/health/edu/curriculum/about\\_curriculum.html](https://www.toho-u.ac.jp/health/edu/curriculum/about_curriculum.html))

### ○教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

トップページ>健康科学部>学部のご紹介>学部の特色・目的  
(<https://www.toho-u.ac.jp/health/course/feature.html>)

### ○取得できる主な資格・学位

トップページ>健康科学部>進路・就職について>主な資格と学位  
([https://www.toho-u.ac.jp/health/career/main\\_way.html](https://www.toho-u.ac.jp/health/career/main_way.html))

### ○ディプロマ・ポリシー

トップページ>健康科学部>学部のご紹介>ディプロマ・ポリシー  
([https://www.toho-u.ac.jp/health/course/diploma\\_policy.html](https://www.toho-u.ac.jp/health/course/diploma_policy.html))

## 14. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

当初の計画どおりに履行している。詳細については、上記「(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）」に記載。

## 15. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

当初の計画どおりに履行している。

教育課程外の取組については、学生の生活支援および学生の進路・就職支援を目的とした健康科学部学生委員会を中心に行っている。

### 実施内容

・令和元年度1年生を対象に、春学期ガイダンスにて、習志野キャリア支援センターおよび看護企画室を紹介

・キャリア形成支援ガイダンス：1～3年生を対象に、看護職に関する講演を開催。

就職支援の案内チラシを配布した。

3年生に対しては、①平成31年4月3日（水）に東邦大学医療センター3病院の紹介とインターンシップ

就活活動の説明・自己分析講座を実施した。②5月24日 実際に働いている様々な看護職（看護師、

認定看護師、専門看護師、保健師）の講話を聞く機会を設けた。③2020年3月2日就職活動直前講座および

④3月21日東邦3病院本校生向け就職説明会は、新型コロナウイルスの影響によって次年度に延期した。

2年生に対しては、①6月18日実習・就職マナー講座を実施。②7月30日保健師、助産師、認定看護師、

大学院進学についての講話の機会を設けた。

1年生に対して、①2020年1月16日看護職の概要とキャリア形成についての講話の機会を設けた。

②ポートフォリオの冊子配布と使用方法の説明を行った。

・令和2年度は、新型コロナウイルスの影響によって昨年度延期した計画が実施できない状況であるため、学生支援の方法について、看護企画室および習志野キャリアセンターとともに検討している。



② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2020（令和2）年4月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（[https://www.toho-u.ac.jp/univ/hojin\\_info/juaa.html](https://www.toho-u.ac.jp/univ/hojin_info/juaa.html)）

③ 認証評価を受ける計画

・2019（令和元）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合しているとの認定を受けている（認定の期間は2027（令和9）年3月31日まで）。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和2年 7月末 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。